

学校・公民館統廃合、人口減少社会をのりこえ  
医療・福祉充実の福山を

市民公開講座

# 地方創生・広域連携は 福山に何をもちたらすか？

日本共産党がおこなった市民アンケートには、「子ども医療費の無料化」「保育料を安く」や「中学校給食の実現を」、「介護の充実」など数多く寄せられました。

しかし福山市は、切実な願いには背を向け、「選択と集中」として大規模な自治体再編を進める「連携中枢都市圏構想」を進めています。

そして、強引な小・中学校の統廃合や市立保育所の民営化、介護切り捨てや、長寿祝い金・重症心身障がい者福祉年金の廃止、水道料金の値上げなど、負担増・給付減を繰り返しています。

2016年4月10日、福山市議会議員選挙がおこなわれます。

「選択と集中」政策に対し、「住み続けられるまちとは？」「どのような市政を選ぶか？」を問いかける市民公開講座を開催します。

1月31日 日  
午後2時～  
リム・ふくやま  
7階セミナールームB

なんで  
学校を  
なくすん？

老後を  
安心して  
暮らせるかな…

福山は  
お金ないの？

福山の  
子育て支援って  
どうなってるん？

## 報告

報告 村上 博（広島修道大教授）

●連携中枢都市 福山のねらいは？

報告 日本共産党福山市議団

●アンケートからみる市民の願い

主催：広島自治権問題研究所

共催：日本共産党福山市議会議員団 福山市霞町3丁目4-25-401 084-922-2815

## 講座

講座 中山 徹（奈良女子大学教授）

●みんなが輝く福山のまちづくりは？

●フロアディスカッション

参加者みんなでこれからの福山を考えます。

入場  
無料

